

令和2年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 1)

令和2年5月1日
水産技術総合センター

1 調査月日 令和2年4月28日

2 調査地点 右図の4定点

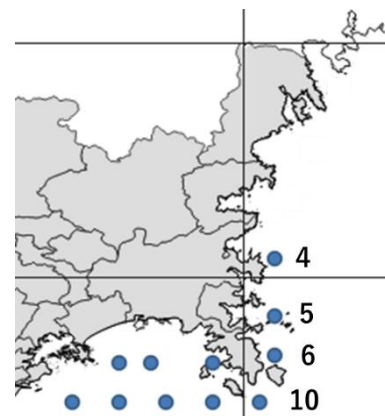
3 概要 (詳細は下表のとおり)

1) 水温: 表層で9.7~10.5℃の範囲にありました。

2) 貝毒原因プランクトン出現数

・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は、St. 4~St. 10で20~50細胞/L確認されました。

・下痢性貝毒原因プランクトンの *Dinophysis acuminata* はSt. 5, St. 6でそれぞれ20~10細胞/L、*D. fortii* は確認されませんでした。



調査地点図

調査結果表 (4 定点)

St.	日時 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)					
						<i>Alexandrium</i> spp.	<i>D. fortii</i>	<i>D.</i> <i>acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属		
						4月28日	4月28日	4月28日	4月28日	備考	
4	4月28日	0	13	10.5	-	50	0	0	0		
	11:20	10		9.1							33.7
	81	20		9.0							33.8
		30		9.0							33.8
5	4月28日	0	13	10.3	-	50	0	20	0		
	10:41	10		9.6							33.4
	30	20		9.1							33.7
		29		9.1							33.8
6	4月28日	0	11	10.3	-	30	0	10	0		
	10:06	10		9.6							33.5
	66	20		9.4							33.6
		30		8.9							33.8
10	4月28日	0	13	9.7	-	20	0	0	10	<i>D.norvegica</i> :10	
	9:25	10		9.4							33.6
	84	20		9.1							33.7
		30		8.9							33.8

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水